令和4年度　里垣小学校の教育活動について
（保護者アンケート・児童アンケート・教職員アンケート結果より）

以下の表中の数字は全て「％」

回答数　：　保護者 250名，　児童 253名，　教職員 19名

Ａ：そう思う　　Ｂ：ややそう思う　　Ｃ：ややそう思わない　　Ｄ：思わない

Ⅰ　かしこい子どもを育てるために

Ａ　言語活動を充実させ，基礎基本の学力を育てる

①子どもは文の意味を理解する力，図表を読み取る力，正しく計算する力が育っている。
(児童)文章や図表などを正しく読み取り基本的な計算ができる。

	A	B	C	D
保護者	42	48	8	2
児　童	59	34	6	1
教職員	79	21	0	0

(教)文章や図表などの読解力や計算力などの基本の学力を育てる指導を行っている。

②子どもは自分から進んで本を読んでいる。
(児童)いろいろな本を自分から進んで読んでいる。

	A	B	C	D
保護者	31	29	30	10
児　童	62	20	14	4
教職員	63	32	5	0

(教)子どもたちが，読書を楽しめるような工夫をしている。

③子どもは授業の内容がわかっている。
(児童)授業はわかりやすく楽しい。

	A	B	C	D
保護者	51	40	6	3
児　童	62	31	5	2
教職員	58	37	5	0

(教)達成感の持てる「わかる授業・楽しい授業」を行っている。

【考察】
①③の項目でＡＢ回答が 90%前後と高いことから，基礎基本の学力の指導や授業内容に関して，概ね肯定的に評価をいただいたと言える。一方，②読書活動については，保護者の評価が 60%となっており，教職員の回答 95%と差が大きくなっている。学校での取り組みで児童にはある程度の効果を示しているが，今後も継続的な取り組みの改善が必要である。ＣＤの結果は課題として全職員で共有し，教育課程や日々の授業などの改善と向上，基礎基本の学力の育成へとつなげる必要がある。

【学校関係者評価より】
かしこい子どもを育てるために，学校における指導の様子が高い数値として評価に表れておりとてもよい。今後も継続して，児童を見守り育ててもらいたい。子どもが興味を持つ図書にたくさんふれる工夫を，学校と家庭が一緒に進めていくことが大切だと考える。

Ｂ　一人ひとりを大切にしたきめ細かな学習指導をする

④学校が行っているグループ学習などの学習形態を工夫した指導は子どもにとって理解しやすい。
(児童)授業の中でグループ学習や班学習などを取り入れるとわかりやすい。

	A	B	C	D
保護者	49	43	7	1
児　童	68	25	6	1
教職員	63	26	11	0

(教)グループ学習などの学習形態を工夫した指導を行っている。

⑤勉強がわからないときには，丁寧な指導をしてくれる。
(児童)勉強がわからないときには，先生が手助けをしてくれる。

	A	B	C	D
保護者	59	32	8	1
児　童	82	13	2	3
教職員	79	21	0	0

(教)授業以外の時間に個別指導をしている。

⑥宿題はきちんとやり毎日学校に持って行っている。
(児童)宿題はきちんとやっている。

	A	B	C	D
保護者	76	18	4	2
児　童	73	21	5	1
教職員	68	32	0	0

(教)日々，適切な分量の課題を与えている。

⑦学校は子どもの良いところを認め伸ばそうとしている。
(児童)先生は努力したことを認め，励ましてくれる。

	A	B	C	D
保護者	73	23	3	1
児　童	78	18	3	1
教職員	79	21	0	0

(教)個々の努力や成果を認め，励まし伸ばしている。

【考察】
全ての項目でＡＢ回答 90%以上と高いことから，児童一人一人に向き合った指導に関して，概ね肯定的に評価をいただいたと言える。
また，④の項目で教職員のＣ回答が 11%あることは，依然として新型コロナウイルス感染拡大防止による影響が考えられる。

【学校関係者評価より】
学校におけるきめ細かな学習指導ができていることが，高い数値に表れている。授業の中で，地域の人材を活用して，教員の負担を軽減するような取組も必要ではないか。

Ⅱ　思いやりのある子どもをそだてるために
Ａ　温かく豊かな生活環境をつくる

⑧子どもはあいさつがよくできている。
(児童)まわりの人に進んであいさつをしている。

	A	B	C	D
保護者	48	42	9	1
児　童	55	32	8	5
教職員	58	42	0	0

(教)自ら進んであいさつができるよう指導している。

⑨子どもはその場に合った正しい言葉遣いをしている。
(児童)正しい言葉遣いに気をつけている。

	A	B	C	D
保護者	41	49	9	1
児　童	54	34	9	3
教職員	58	42	0	0

(教)正しい言葉づかいができるよう指導している。

⑩思いやりの心や命を大切にする心が育っている。
(児童)友達と仲良く生活している。

	A	B	C	D
保護者	61	34	5	0
児　童	77	18	4	1
教職員	89	11	0	0

(教)思いやりの心や命を大切にする心を育てる指導をしている。

⑪子どもは先生を信頼している。
(児童)先生は困ったときに話を聞いてくれる。

	A	B	C	D
保護者	80	17	2	1
児　童	82	16	1	1
教職員	63	37	0	0

(教)子どもの悩みや相談を積極的に聞いている。

【考察】
全ての項目でＡＢ回答が 90%前後と高いことから，生活面での指導に関して，概ね肯定的に評価をいただいたと言える。一方，あいさつや言葉遣いに関しては，児童の評価が低い傾向があるので，時と場に応じた対応ができるよう継続的に取り組むことが必要である。
【学校関係者評価より】
登下校の際に出会う児童は，大変よくあいさつをしてくれて，とてもさわやかな気持ちになる。今後も学校や地域の中で，良い習慣を継続してほしい。

Ⅲ　元気な子どもを育てるために
Ａ　運動に親しみ健康な体づくりをめざす

⑫子どもは体育の授業を楽しみにしている。
(児童)体育の授業は楽しい。

	A	B	C	D
保護者	63	24	10	3
児　童	77	17	4	2
教職員	53	42	5	0

(教)発達段階に応じた運動に取り組ませている。

⑬子どもの体力がついてきたように思う。
(児童)進んで運動したり外に出て遊んだりしている。

	A	B	C	D
保護者	56	30	12	2
児　童	56	20	17	7
教職員	21	58	21	0

(教)体力向上の手立てを講じている。

⑭子どもは食べ物や健康に気をつけている。
(児童)食べ物や健康に気をつけて生活している。

	A	B	C	D
保護者	33	43	20	4
児　童	61	30	7	2
教職員	47	42	11	0

(教)食育・健康教育を計画的に行っている。

【考察】
新型コロナウイルス感染拡大防止の影響を受けながらも，体育の学習については概ね肯定的に評価をいただいた。体力づくりに関しては，⑬の項目で，ＣＤ回答が 20%前後あることから，体力の低下を感じている観もある。今後も，内容を工夫した体育授業やたてわり班での外遊びなど，体力づくりの機会を増やしていきたい。また，⑭の食育に関して，保護者の評価が 76%と，昨年度(70%)より高い評価になっている。学校での取り組みで児童には高い効果を示しているが，保護者の評価は依然として低いので，今後も継続的な取り組みの改善が必要である。
【学校関係者評価より】
運動会等の行事にも，地域の人間として可能な限り参加しながら，児童の様子や学校の現状を理解して，一緒に里垣の子どもを育てていきたい。コロナ禍以前に行っていた食に関する地域と学校の行事を，今後も実施していきたい。

Ⅳ　安全安心な学校にするために
Ａ　自分の身を守る力を育てる

⑮子どもは防災・防犯に対して，どのように対応するかわかっている。
(児童)地震や火事，こわい人への対応がわかる。

	A	B	C	D
保護者	33	50	14	3
児　童	78	18	2	2
教職員	90	5	5	0

(教)防災・防犯訓練を活かして，危機管理指導を行っている。

⑯子どもは登下校の安全に気をつけている。
(児童)交通ルールを守り，安全に登校している。

	A	B	C	D
保護者	55	36	8	1
児　童	86	11	2	1
教職員	74	21	5	0

(教)登下校の安全指導を日常的に行っている。

⑰学校は子ども達の安全に配慮している。
(児童)学校は安全だと思う。

	A	B	C	D
保護者	60	34	6	0
児　童	82	15	1	2
教職員	79	21	0	0

(教)子どもたちの安全に気を配っている。

【考察】
ほとんどの項目でＡＢ回答が 90%以上と高いことから，安全面での指導に関して，概ね肯定的に評価をいただいている。しかし，⑮の項目では，保護者と児童・教職員の評価の差が大きく，防災・防犯面での学校の取り組みの周知が少ないのではないかと思われる。今後も学校だよりやホームページ等で学校の取り組みを周知していく必要がある。
【学校関係者評価より】
両親が仕事を持つ家庭が増えており，帰宅してからの児童の過ごし方が心配になる。家族の関係についても，地域の中で支えることができるように協力していきたい。地域における登下校時の見守り活動も，ＰＴＡの呼びかけに応じて継続していきたい。

Ⅴ　信頼される学校にするために

Ａ　保護者・地域との交流・連携を充実する

⑱学校は保護者や地域と積極的に交流・連携をとろうと努力している。

	A	B	C	D
保護者	49	42	8	1
教職員	5	32	53	10

(教)地域行事に参加している。

⑲学校だよりやホームページから学校の様子がよくわかる。

	A	B	C	D
保護者	46	42	10	2
教職員	69	26	5	0

(教)学校の教育活動を保護者や地域に知らせ，理解を得ている。

⑳学校に保護者や子どものことを気軽に相談できる。

	A	B	C	D
保護者	67	25	5	3
教職員	84	16	0	0

(教)保護者の相談に素早く対応している。

【考察】
保護者については，⑱⑳の項目でＡＢ回答が 90%以上と高いことから，学校との交流・連携に関して，概ね肯定的に評価をいただいている。一方，教職員の⑱の項目では，ＣＤ回答に依然として否定的な評価が多いので，新型コロナウイルス感染拡大防止を念頭に置いた地域行事への参加体制が必要である。また今後も感染状況を見ながら，授業参観や学校開放日などの学校行事を実施していくことが大切である。
【学校関係者評価より】
コロナ禍の影響を受け学校行事が縮小され，地域から学校の様子が見えにくく残念である。学校は厳しい条件の中でよくがんばっており，学校運営協議会では，地域で学校を盛り上げていくという責任感を持って，信頼される学校を築いていくことが必要である。学校に寄せられる意見に真摯に耳を傾けて，対応を考えていくことが大切である。

【保護者のコメント】

コメントⅠ
・コロナ禍が続く中，一生懸命に努力してくださっていると本当に感謝しております。子供たちのために色々頑張ってくださりとてもありがたいですが，少しでも簡素化できるところはしていただいて先生がたご自身のことも大事にしてくださると嬉しいです。
・今の時点でとても満足をしております。今後も変わらぬご指導をお願いしたいと思っております。
・いつもお世話になっています。子供の体調や心によりそって親身になって先生たちがしてくれて感謝してます。
・子供たちのために毎日朝早くから夜遅くまで，本当にありがとうございます。先生方が休み時間も活動しているのを見て，一息つける時間はあるのかなと心配になってしまいます。例えば，週に一回でもボランティアで地域の方や保護者の方に，給食時間をお任せするとか，できたらいいなと思いました。
・信頼できる先生や友達に囲まれて充実した学校生活を送れていることに感謝いたします。ありがとうございます。コロナ禍ということもありますが，登下校時の挨拶がもう少しできるとよいなと思っています。私たち大人が率先して行っていきたいです。
・先生がちゃんと休まれているか心配です。　人数が多いので大変かと思います。いつもありがとうございます。
【改善等】
大変心温まるご意見をありがとうございます。小学校における学習は，児童が自立するための基礎となる大切なものです。本校でも学校教育目標の達成に資するよう，児童の実態や本校の立地条件に応じた様々な教育指導を実践するよう努めております。現在，教員の勤務時間の長さや多忙化が問題となっています。これらの課題の改善に向け，保護者や地域の皆様のご理解とご協力をいただきながら，努力して参ります。

コメントⅡ
・いつもご指導いただきありがとうございます。コロナ禍で学校に行く機会が限られている中，心身ともに成長期にある子どもの学校での様子を映像や写真で見る機会もほとんどないまま，毎年１年が過ぎて行ってしまうことを残念に思います。
・地域と学校との活動や交流がどのようなものがあるかあまり分からないです。コロナもありイベントが無くなってしまったりもしてるせいか，地域との交流や学校内で保護者同士の交流の機会も少なかったりないと感じています。
・コロナ禍と言う事もありますが，何とか工夫して頂き学校を訪問する機会を増やして頂きたい。特に一年生はお友達や親御さんも良く分からないので交流の場が欲しいです。
・授業参観の時によく，授業の様子を写真でおさめてくれて，見せてくれるのがとてもありがたいけど，写真の販売があるといいなって思います。　後から写真をみて，これはこーだったあーだってのを聞きたいです。
【改善等】
今年度も感染状況を鑑みながら，授業参観や学年懇談会を実施してきました。今後も多くの保護者の皆様に来校していただけるよう配慮していきたいと思います。写真販売については，職員の多忙化の改善の観点からも，現状の対応にてご容赦いただけるとありがたいです。

コメントⅢ
・クロームブックを毎週末持ち帰れたら，子ども達も保護者ももっと使い慣れてくると思います。正直始めは家の PC と使い勝手が違ったので戸惑いがあり，子どもに教えるのに難儀しました。
・クロームブックの記録を家族が見る機会が少ないのでデータを卒業時欲しいです。
・クロームブックを毎週末持ち帰れたら，子ども達も含め保護者も使い慣れてくると思います。正直家の PC と使い勝手が違ったので始め戸惑いがあり子どもに教えるのも難儀でした。
【改善等】
「GIGA スクール構想」により，児童一人一台端末が配備され，クロームブックを用いての様々な学習も可能になりました。いただいた意見を参考にしながら，今後はさらに活用を充実させ，学習を進めていきたいと思います。

コメントⅣ
・ローマ字の学習には驚きました。いまだにあんなに一生懸命ローマ字を学習するのはどうかと思います。その時間を外国語に振り替えて頂いた方が良いのではないでしょうか。
・授業時間だけでは苦手な分野の克服が出来ないままです。通塾もしていますがまだ結果につながっておりません。プリント等もそれぞれの苦手に合わせていただけると助かります。
・集団での授業がうまくなじめない生徒が一定数存在する中，担任の先生だけでは対応が難しいと思うが，支援員の先生の数やサポートが足りていないと感じる。 通級についても里垣小学校では現在受けられないが，保護者が両親とも仕事をしていると，実施している別の学校に連れて行くことは困難であるため，本校でもぜひ受けられるようにしてもらいたい。
・子ども同士のトラブルがあった時に子どもが納得しないで帰宅する事が多々あり，子どもが先生の対応に理不尽感を抱く事もあった。 また，先生と子ども間での約束事（クラスでのルール）があるようで『先生が約束を忘れて守らない』とも言っていた。友達関係やルール，約束事に敏感なってる時期でもあるのでもう少し子どもとの向き合い方を見直してもらいたいです。
・職員の方らしいですが，高倉川と校庭の道をすごいスピードで車を走らせていて，そこを児童が歩いていて，危険を感じると何度か言っていました。ご指導お願いします。
・担任の個人情報の扱いについて気になる点がありました。その事について，連絡帳に記載しましたが，その日は不在でした。別の教員がとりあえず返信やその後職員へ指導してくれるかと思ってましたが，その日の連絡帳の返信も何もありませんでした。教育訓練もされてると思います。担任の言動の管理も難しいと思いますが，もう少し気にしてほしいと思います。
【改善等】
　ローマ字の学習は小４で行っていましたが，2020 年の指導要領改訂で３年で行うようになりました。クロームブックでのキーボード入力の際にも必要となる大切な学習であると考えております。一人一人の子供たちと向き合い，きめ細かに対応ができるよう，今後も保護者の皆様のご意見を参考にしながら，本校における教育活動の充実・教育課程の精選や見直しに取り組んで参ります。また，職員の日頃からの言動につきましても，児童の教育に関わる公務員としての資質･能力の向上に努めて参ります。

コメントⅤ
・登下校時の安全については不安もあります。zoom 等を活用し，子供たちの日常が手軽に見られたらよいと思います。
・子供たちが下校時に学校を出発したらメールで連絡が欲しいです。 帰宅が遅れた理由を聞くと，寄り道では無くそもそも学校を出発したのが遅かった日が度々ありました。 帰宅時間の目安にもなるので是非ご検討いただきたいです
・いつもお世話になりありがとうございます。登校班の班長旗は必要でしょうか？雨の日，荷物の多い日，両手が塞がりとても危険だと思います。何十年も変わらないものですが，子どもの安全にはつながってないと思います。他の小学校(東小など)はキーホルダーやワッペンなどに替えているそうです。里垣も早急に変更を検討していただきたいです。
・旗降り当番の連絡網は，廃止にしてほしいです。悪用している保護者がいる可能性があるので。トラブルは学校を通して解決してほしいです。保護者だけだと，トラブルが更に酷い事になります。
【改善等】
　定期的に警察の方が，朝のスクールゾーンの取り締まりをしてくださっています。下校時も定期的に山梨学院大学のディターレントクラブの学生さんが下校の見守りをしてくれています。ご家庭でも登下校時に，里垣小児童全員の安全を確保する気持ちで，可能な範囲で温かく見守っていただけるとありがたいです。ご要望をいただいた登校班長の班長旗については使用をやめ，新しくプレートを新登校班の編制より使用して参ります。また旗振り当番の連絡先は個人情報ですので，慎重に取り扱いをお願いいたします。学校でも時間を守って下校できるように取り組みます。

コメントⅥ
・よつば学級の生徒が校舎内のトイレを使えるように改築していただきたいです。現在は外にあるトイレを雨の日も，暗くなってからも，男女兼用で１つのトイレを使っていますが，低学年は特に怖がって使いたがらず，精神面でも安全面でも，校舎の中にいたままトイレに安心していけるような設備になったらいいなと思います。
・学童と連携を取って情報共有をしてほしい。
【改善等】
　今後とも，甲府市教育委員会・放課後児童クラブと連携を取り，情報交換を行い，課題の改善に努めて参ります。
（表現はできるだけアンケート文面の通りとしましたが，紙面の都合等で変わった箇所もあります。ご了承ください。）

おわりに
　保護者の皆様からお寄せいただいたご意見に励まされ，また，気づかされ，明日への原動力と指針をいただくことができました。職員一同，気持ちも新たに，里垣の子のよりよい成長のため，邁進していきたいと思います。この結果は，優先順位をつけながら，本年度の残りの日々はもちろん，来年度の本校教育に活かしていきます。
　今後とも，変わらぬご支援とご協力をお願いし，令和４年度の保護者アンケート・児童アンケート・教職員アンケートの報告とさせていただきます。